

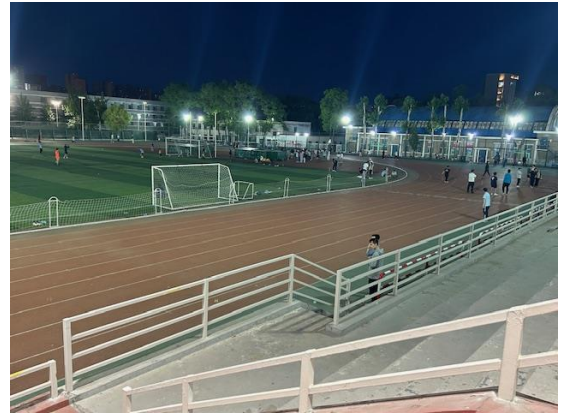
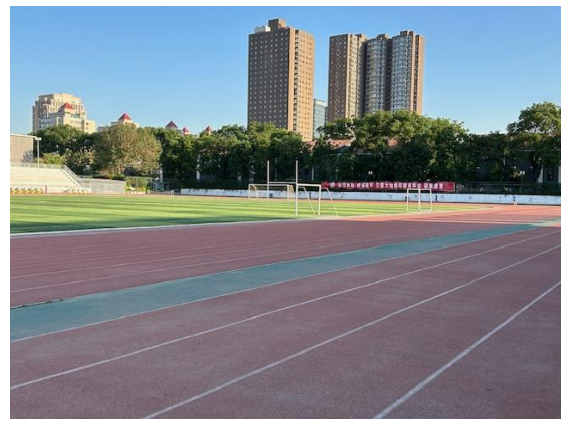
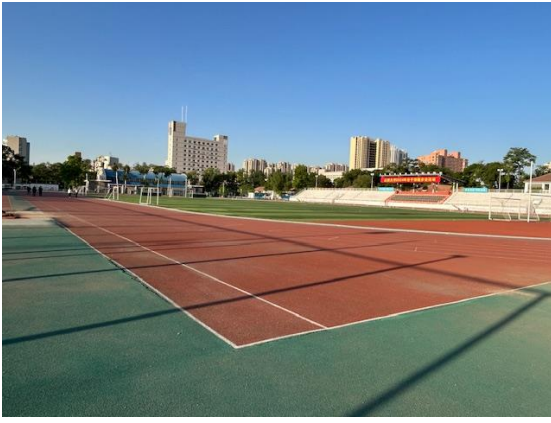
素敵なネイティブ・エトセトラ

5月、気温は連日30℃を越え、とても暑い毎日です。雨は月に一度降るか降らないかといった感じで、太原で傘を差した記憶がほとんどありません。朝晩も半袖で過ごせる陽気で、季節はもう夏かいな？という感じです。寮生活を送る大学生は、男女とも短パン姿が実に多いです。

34名のクラスメートも、帰国してしまったりクラスが変わったりと、徐々に人数が減り、今何人残っているのかさっぱりわかりません。授業は毎朝8時開始ですが、この時点では数人しかいないのが現実で、遅刻が常態化しています。だいたい顔ぶれはいつも同じ、20人そろえばいい方かな、という感じです。

さて、留学生活もいよいよ佳境を迎えます。書きたいテーマは山ほどあります。中国人の気質、交通事情、授業の様子、食文化、旅の思い出等々。しかしながら、私のレポートは一貫して、この留学中に会ったネイティブにスポットを当ててきたので、最後までその精神をマッコウクジラ。今回は最近出会った二人のネイティブ（もっと早く出会いたかった！）&初期に出会ったネイティブとのその後についてレポートします。

- ① 最近出会ったネイティブ1 Gさん（運動場の管理人）
- ② 最近出会ったネイティブ2 Hさん（日本語専攻の大学院生）
- ③ 初期に出会ったネイティブ 10月分レポートで紹介したAさん
- ④ 初期に出会ったネイティブ 11月分レポートで紹介した麵屋のオヤジ
- ⑤ 初期に出会ったネイティブ 12月分レポートで紹介した洋品店の女性店主
- ⑥ 初期に出会ったネイティブ 1月分レポートで紹介したマダム



① Gさん（運動場の管理人）

寮から徒歩5分の運動場、毎朝の散歩とラジオ体操に利用しています。4月以降は夜間も半袖で過ごせるため夜の散歩にも最適で、週に何度も利用します。夜の運動場は、ランニングをする人、サッカーを楽しむ人等、思い思いに体を動かす人で結構賑わっています。留学生も多く利用し、知った顔によく出会います。運動場は基本的に1日中解放されていますが、平日8:00から18:30までは学生の体育の授業が最優先されるために、閉門され一般人の入場はできません。Gさんが入口で目を光らせています。某土曜日、山西大学附属小学校の運動会が開催、入場できるのは生徒とその家族、関係者のみです。そんなことはいざ知らず、運動場へ入ろうとした私にGさんが待ったをかけてきました。私が外国人であるとわかると、「どこから来た?」「専門は何か?」「いつ中国へ来た?」と定例の質問をぶつけてきました。年もほぼ同じことがわかると、いっそう私に興味を持ってきた様子です。私が「中国の運動会ってどんなものか興味がある、見てみたい!」と伝えると、こっそり中へ入れてくれた上に特等席を提供、観覧を特別に許可してくれました（ただし、写真撮影は厳禁、と釘をさされる）。こんな形で知り合ったGさん、とても明るくて顔が広く、夜の運動場を利用する多くの留学生や大学関係者といつも談笑している姿が見られます。酒とたばこのみならず、下ネタも大好きで、いろんな隠語も教えてく

れます。

私が彼を訪ねると、いつもいろんな人を紹介してくれます。大学の教員や、体育会大学生、私の知らない留学生、キャンパス内の売店で働く人など、交流の輪はどんどん広がっていきます。Gさんとはあと数か月早く出会いたかった！と心の底から思います。一度に10人以上紹介されることもあり、とても覚えきれません。しかし相手にとって私は、年の離れた外国人、相当印象に残るようです。実際、ここ最近ではキャンパス内を歩いていて、不思議と声を掛けられることが多く、悲しいかな「この人、誰だっけ？」ということが間々あります。



右がGさん、左は留学生サッカーチームのキャプテン

② Hさん（日本語専攻の大学院生）

3月分レポートのEさんの紹介で知り合った彼女。実は昨年顔見知りだったのですが、4月に彼女から「日本語を教えてください。」とメールが来て、週に一回、一緒に勉強することになりました。すでに大学内で日本人教師の国内への公式訪問に同行して通訳を務める等、相当高いレベルの日本語を使いこなせます。キャンパス内で不思議とよくバッティングするのですが、いつも素敵で素敵な彼氏と一緒に彼を私にも紹介してくれました。とにかく「あっ、この人ホントに頭がいいんだな。」という感じで、私の中国語に関するどんな質問にも過不足なく、的確に答えてくれます。中国語が使えないときは、日本語が使えるので、なおさら理解は深まり、現在、私が何か困った時に、真っ先に相談を持ち掛けるのは彼女です。彼女が私に投げ掛ける日本語の質問は当然ながら相当レベルが高く時々、困ってシマウマ。

③ 10月分レポートで紹介したAさん（チャリにまつわるお話）

私にチャリを都合してくれた彼女。彼女のもとへも週に一度は必ず通い、毎回美味しい食事を提供してもらいました。チャリを入手できたおかげで、毎日の生活はとても快適になり感謝百倍です。4月に一度パンクし、これまでか!と思ったのですが、修理して乗れるようになりました。パンクの修理はタイヤからチューブを抜いて、水の中で穴を探して補修するという昔ながらのやり方。自転車店（キャンパス内）の主人は惚れ惚れするほど手際が良く、費用はなんと5元でした。Aさんには、日本の「白い恋人」を何個か分けてあげたら、子供が相当気に入ったようで「どこで買えるの?」と聞いてきたので、ひと箱プレゼントしてしまいました。



④ 11月分レポートで紹介した麵屋のオヤジ

オヤジの店も週に一度は必ず訪問します。オヤジの麺も食べ始めて早半年経過、ぶっちゃけ、ちと飽きてきたのですが、時々無性に食べたくなる摩訶不思議な麺です。オヤジの訛り多い中国語にもすっかり慣れ、突っ込んだ会話もできるようになりました。5月某日、オヤジを訪問すると、なんと奥様がたまたま来ていたことがありました。初めてお目にかかります。3人で記念撮影しようと提案したのですが、二人とも異常なほどに恥ずかしくて、撮影はかないませんでした。なかなかカワイイところがあるな、って感じです。

⑤ 12月分レポートで紹介した洋品店の女性店主

このお店、実は年明けからずっと閉店していました。4月下旬に行ってみると開店していたので、即訪問。しかし、女性店主の姿はなし。新しい男性店員に女性店主のことを尋ねても「知らんね。」というばかり。とても素敵なお店だったので、残念無念、写真一枚すら残っていないので、探す当てもなし。どこかで元気に過ごしていることを祈るばかりです。

⑥ 1月分レポートで紹介したマダム

マダムとは実は最終的には2回会ったきりです。今年の元日に会い、1月4日には、空港の税関に日本から届いた荷物を取りに行くのを手伝ってくれたのが最後になってしまいました。この日は豪華な食事も御馳走してくれたので、何かお礼を、と思っているのですが、この日以降ぱったり音信が途絶えてしまいました。私が嫌われて愛想を尽かされたのか、何か彼女に予期せぬことでも起こったか、さっぱりわかりません。

★トータル日の食事

- ①朝 (学内) 卵豆腐、野菜、菓子パン。ちょっとお高め12元。
- ②昼 (学外) 近所の飲食店の焼きそば定食。焼きそばは激ウマ。量も莫大、ごはんには一切箸をつけられませんでした。22元。
- ③夜 (♥) 実はこれ、クラスメートの一人が差し入れてくれたパスタ! 「パスタが食べたいよ〜」とつぶやいたところ、自炊しているクラスメートが「今日の夕食は偶然にもパスタなので、一緒に作ります。」と返事あり。パスタは中国語では「意大利面」と言います。学内食堂でも提供されており、一度食べてみたのですが、お金を払ってもう一回食べようという気は全く起きませんでした。激ウマ、凄ウマ、超ウマ、ヤバウマ、シマウマ (再度登場!). あまりしつこくつぶやいていると、「うぜー野郎だな。」と思われるのが関の山なので、時々つぶやくと効果があるみたいです。彼女にもネットで購入した「白い恋人」を後日お返しにプレゼント、とても喜んでくれました。

「草の根の国際交流」といったところでしょうか。

この日の食事代合計 34元 (1元≒20円)

①



②



③

